

# トヨキン株式会社

愛知県豊田市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

## リサイクルと環境に挑み、社会から好感をもっと受け入れられる会社へ

- 徹底的な機械化・省人化と世界唯一のリサイクル技術の組合せによる競争力確保
- 技術や技能を蓄積させるため、全社員正社員雇用形態堅持をベースとした体制作り
- 雇用や新たな仕組み作りへの先駆的な取組みを通じた地域への貢献

### 企業基本情報

所在地	愛知県豊田市鴻ノ巣町三丁目 33 番地
電話/FAX	0565-28-2222/0565-28-7585
URL	<a href="http://www.toyokin.co.jp/index.htm">http://www.toyokin.co.jp/index.htm</a>
代表者	取締役会長 鈴木 和弘
設立	1955年
資本金	9,877万円
従業員数	381人



### 会社概要

環境問題が大きな注目を集める現在、資源の再利用や、廃棄物の適正な処理の重要性は益々高まっている。同社は、鉄及び非鉄金属資源のリサイクルを柱に、使用済み自動車の回収、解体、中古部品としての販売、医療系を含む廃棄物の運搬、中間及び焼却処理等と、事業分野を拡大しつつ、亜鉛メッキ鋼板から真空状態で亜鉛を取り除く技術や、自動車のエンジン冷却液から、微生物を活用しエチレングリコールを除去するオンリーワン技術を確認するなど、資源循環型の新しい社会造りに貢献している。



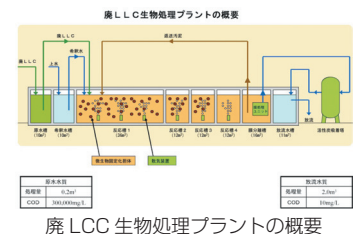
会社外観

### 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

#### ▶▶▶ オンリーワンの技術を確認し、価格競争力と高い品質力を創出

リサイクルビジネスでは製品原料となる廃棄物の分別が必要であるが、廃棄物の成分が一定でなく、安定的な原料供給のためには、成分分析調査等が必要となる。こうした作業は汎用的手法がないため人手による作業が多く、原料価格高騰が課題である。

同社は、徹底的な機械化と省人化に加え、亜鉛メッキ鋼板から真空状態で亜鉛を取り除く技術や、自動車エンジン冷却液から微生物を活用しエチレングリコールを除去するオンリーワン技術を確認し、パーズン材に負けない価格競争力と高い品質力を創出している。



同上プラントの外観

#### ▶▶▶ 全社員正社員雇用し、社員の多能化も図る

非正規社員では、技術や技能を蓄積することが難しいという経営者の理念から、派遣労働者やパート従業員は雇用しておらず、社員全員を正社員として雇用している。これは、日本再興戦略改訂 2015 で提示されている「正社員転換」という方向性にも合致している。また、ジョブローテーションを積極的に実施、社員の多能工化を進め、繁忙期やトラブル発生時にも柔軟に対応できるような体制作りを行っている。



工場内観

#### ▶▶▶ 地域の雇用創出に貢献し、再資源化等にも取り組む

同社は、好感を持って地域・社会から受け入れられる企業になるとの経営者の理念に基づき、毎年地元から 20 名を新規雇用し、地域の雇用創出に大きく貢献しているほか、小型家電リサイクルに法規制確立前から、豊田市と協力し、市内のごみステーションにて回収した金属ごみから小型家電をピックアップ、資源ごとに分別しレアメタル等の再資源化に全国に先駆け取り組むなど、経営者の強いリーダーシップの下、企業活動が行われている。